

日本心臓血管放射線研究会学術研究助成  
学会報告記

氏名 伊藤 達郎

所属機関名(発表時) 三重大学医学部附属病院 放射線診断科

発表学会名 The 7<sup>th</sup> Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI) (口演発表)

学会開催年月日 2013年 8月 17日～ 18日

演題名 Visual assessment of dynamic myocardial perfusion dual-source CT for detecting significant coronary artery disease: Dynamic images vs. myocardial blood flow maps

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

**締切:2013年11月1日**

◇本文

この度は日本心臓血管放射線研究会学術研究助成を頂きありがとうございました。2013年8月17日から2日間行われた ASCI2013 に参加しましたのでご報告します。今回の ASCI は北京の China National Convention Center で行われ、アジア各国から多くの先生が参加されていました。

今回、私は dual-source CT を用いたダイナミック心筋パーフュージョンの評価方法について発表しました。初の国際学会での口演発表であり、尋常ではない緊張と発表スライドがうまく動かないというアクシデントに見舞われましたが、何とか無事に発表することができました。発表後にはたくさんの質問を頂くことができ、大変ためになるものでした。また、同じセッションの一般演題は各国の同年代くらいと思われる先生からの発表が多く、日本に帰ってまた精力的にやっっていこうという刺激をもらいました。教育講演ではアジア以外からもご高名な先生方がみえており、Dr. Berman や Dr. Lima のご講演を拝聴することができました。ただ、3つのホールで発表や講演が同時進行しており、興味深い講演の時間がかぶって聞くことができないのが残念でした。

17日の夜には Congress Banquet が行われ、中国の伝統的な楽器演奏を聞きながら、Seoul National University の Whal Lee 先生達と円卓を囲んで一緒に食事をすることができました。

学会会場は北京オリンピック公園のすぐ隣であり、学会後には”鳥の巣(国家スタジアム)”や”水立方(水泳競技場)”の夜景を楽しむことができました。また、タクシーで30分程度のところに天安門・故宮がありましたので、帰国前に広大な敷地を巡り、中国の歴史に触れることもできました。今回は大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

